

令和5年度 ながさき農林業大賞受賞者一覧

1 農林水産大臣賞及び長崎県知事賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等		地区
1 施設野菜部門 (トップファーマー)	本多 衛治・裕子	南島原市	いちご	79a	島原

2 長崎県知事賞

部門及び区分	氏名・組織名等	市町	経営規模等		地区
1 露地野菜部門 (トップファーマー)	木村 誠	雲仙市	レタス キャベツ たまねぎ他	2,000a 700a 250a	島原
2 果樹部門 (トップファーマー)	古川 公彦・みゆき	佐世保市	露地みかん ハウスみかん 無加温みかん 中晩柑	410a 11a 27a 36a	県北
3 花き部門 (トップファーマー)	野田 伸一・桂子	諫早市	スカピオサ その他草花 水稻・WCS	30a 35a 85a	県央
4 畜産部門 (トップファーマー)	株式会社 高田牧場	南島原市	繁殖牛 肥育牛	120頭 900頭	島原
5 農産部門 (トップファーマー)	農事組合法人 勝本	壱岐市	水稻 大麦 大豆	1,774a 752a 439a	壱岐
6 特産部門 (トップファーマー)	尾上 和彦・美紀	東彼杵町	茶 水稻	820a 30a	県央
7 しまの農林業経営部門 (トップファーマー)	亀山 光孝・青子	五島市	葉たばこ 麦類 かんしょ 高菜	210a 100a 70a 20a	五島
8 産地集団部門 (いきいきファーム)	対馬森林組合	対馬市	木材	167ha	対馬
9 地産地消・食農部門 (いきいきファーム)	株式会社 彼杵の荘	東彼杵町	構成員数(生産者) 設立年	450人 平成13年	県央
10 農山村地域保全部門 (げんきビレッジ)	東彼林業研究会	川棚町 波佐見町	構成員数 設立年	28人 昭和59年	県央

農林水産大臣賞 及び 長崎県知事賞

受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

氏名

ほんだ えいじ
本多 衛治

ほんだ ゆうこ
本多 裕子

市町名 南島原市

所属団体 島原雲仙農業協同組合東部いちご部会



1 経営の概要

	主品目（いちご）	その他		合計
作付面積（頭羽数）	79a	-		79a
単収	8,776kg/10a	-		-
生産量（販売量）	68.9t	-		-
労働時間 （うち雇用時間）	25,040 時間 （16,240 時間）	-		25,040 時間 （16,240 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定締結、就業規則に関する規定有			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	天敵利用、太陽熱消毒、生産履歴記帳			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

（１）夜冷と株冷の作型を組合せ労働力の分散をはかり、いちご栽培としては79aと大規模面積を実現している個別経営体である。

（２）環境制御技術等の導入により、いちご品種「ゆめのか」において全国でもトップクラスの単収と極めて高品質ないちご生産を実践している。

（３）市場からのニーズの高い定数詰め徹底と併せ、輸出用に活用される3L平パック規格の出荷にも積極的に取り組んでいる。

（４）規模拡大に際しては遊休ハウス活用や自力施工による低コスト化を図るとともに、施設の集約、高設栽培による軽労化、外国人材等を活用した雇用型経営を実践し、地域内の模範となっている。



いちごの苗と本多さんご夫妻

長崎県知事賞 受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

氏名

きむら まこと
木村 誠



市町名 雲仙市

所属団体 生産組合 鷹博農園

1 経営の概要

	主品目（レタス）	その他		合計
作付面積(頭羽数)	2,000a	キャベツ 700a たまねぎ 200a 春作ばれいしょ 50a		2,950a
単収	4,900kg/10a	-		-
生産量（販売量）	980.0t	-		-
労働時間 （うち雇用時間）	-	-		39,920 時間 （34,160 時間）
家族従事者数	3人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	就業規則に関する規定有			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	特別栽培、JGAP、資源循環の取組（地域内資源利用）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 平成30年度から諫早湾干拓地に入植し、環境保全型農業に取り組むとともに、圃場の集約やブームスプレーヤ防除、鉄コンテナなどにより大幅な作業効率化を実現し、外国人材の活用等周年雇用を行う県内トップクラス規模の露地野菜経営体である。
- (2) レタスでは、厳寒期のべたがけ栽培や真空予冷、保冷輸送などコールドチェーンにより、単収や品質向上に努めている。
- (3) 組合長を務める鷹博農園（組合員5名）では、自ら推進し、実需者ニーズに対応したJGAP団体認証を取得している。



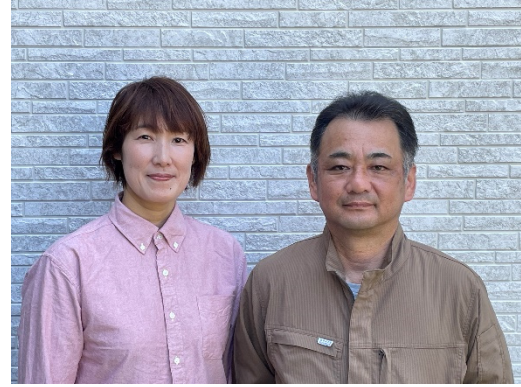
レタス定植状況の確認

長崎県知事賞 受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

氏名

ふるかわ きみひこ
古川 公彦

ふるかわ みゆき
古川 みゆき



市町名 佐世保市

所属団体 ながさき西海農協

させば広域かんきつ部会

1 経営の概要

	主品目（温州みかん）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	露地 410a ハウス 11a 無加温 27a	中晩柑 36a	484a
単収	露地 3.0t/10a ハウス 7.3t/10a 無加温 5.1t/10a	-	-
生産量（販売量）	露地 121.0t ハウス 8.1t 無加温 13.8t	中晩柑 2.2t	145.1t
労働時間 （うち雇用時間）	21,088 時間 （14,059 時間）	512 時間 （341 時間）	21,600 時間 （14,400 時間）
家族従事者数	3人	経営の継続性	経営主が60歳以下
労働条件の整備	家族経営協定締結		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機質肥料の施用、長崎県版 GAP（初心者用）実践、 資源循環の取組（地域・部門間連携）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 露地みかん、加温ハウス、無加温ハウス、中晩柑を組み合わせた大規模なカンキツ経営を行う経営体であり、作業の効率化のため園内道の整備やスピードスプレーヤ等の省力機械の導入を積極的に行っている。
- (2) 露地みかん全園において園地登録園制度での管理を実施し、「味っ子」、「味まる」等のブランド率は部会内で上位クラスである。
- (3) 地域に先がけてルートラップを用いた根域制限栽培を導入し、高品質果実生産を実現するなど、地域のモデル経営となっている。
- (4) ながさき西海農協させば地区かんきつ部会長、長崎県 JA 果樹研究会会長を歴任し、リーダーとして本県の果樹産地振興に大きく貢献している。



みかんの摘果作業

長崎県知事賞 受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名

の だ しんいち
野田 伸一

の だ けいこ
野田 桂子

市町名 諫早市

所属団体 ながさき花遊歌



1 経営の概要

	主品目（スカビオサ）	その他		合 計
作付面積(頭羽数)	30a	その他草花 35a	水稲・WCS 85a	150a
単収	272,050 本/10a	-		-
生産量（販売量）	816,150 本	-		-
労働時間 (うち雇用時間)	5,648 時間 (2,607 時間)	3,944 時間 (1,785 時間)		9,592 時間 (4,392 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下	
労働条件の整備	家族経営協定締結			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	太陽熱消毒、有機質資材の施用、有機物マルチの施用、生産履歴記帳、 資源循環の取組（自己完結・地域内資源の利用）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 県内で初めてスカビオサの本格栽培を開始し、品種選定を行い、交配によるオリジナル系統を多数作出しており、自らが求める特性を持つ品種の育成と、それに合わせた栽培方法、増殖技術を独自に開発しながら、高い収益が見込める品目として技術確立を行った。
- (2) オリジナル品種については、他にない花色展開により市場の評価も非常に高く、海外への輸出にも取り組んでいる。
- (3) 全国的にも少ないフェンロー型ハウスをいち早く導入し周年で安定的に栽培できる環境を整えるとともに、統合環境制御栽培を実践し、全国でも抜きんてた収量をあげ高い生産性を実現している。
- (4) 伸一氏は、生産組織や地域農業者のリーダーとして活躍するとともに、桂子氏は農業士として地域農業後継者の助言・指導を行うなど、ともに本県花き並びに地域農業の振興に大きく貢献している。



スカビオサと野田さんご夫妻

長崎県知事賞 受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

法人名

かぶしきがいしゃ たかだほくじょう
株式会社 高田牧場

代表者名 代表取締役

たかだ しんじ
高田 紳次

市町名 南島原市

所属団体 島原雲仙農協肉牛枝肉連絡協議会
島原雲仙農業協同組合有家和牛部会



1 経営の概要

	主品目（肉用牛）	その他	合 計
作付面積(頭羽数)	繁殖牛 120 頭 肥育牛 900 頭	-	繁殖牛 120 頭 肥育牛 900 頭
単収	枝肉重量 541kg/頭（黒毛去勢）	-	-
生産量（販売量）	肥育牛出荷頭数 661 頭	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	22,560 時間 （17,600 時間）	-	22,560 時間 （17,600 時間）
役員数	2 人	経営の継続性	法人設立（平成 21 年）
労働条件の整備	就業規則に関する規定有		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	エコフィードの利用、自給飼料の生産、抗生剤の使用低減、生産履歴記帳、 生産履歴に基づく販売、資源循環の取組（自己完結）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 南島原市で肉用牛の大規模一貫経営に先進的に取り組む経営体であり、黒毛和種、褐毛和種、交雑種などの多様な品種を飼養し、一般肥育や老廃肥育など素牛の状態に応じた生産方式を採ることで多彩な牛肉を生産している。
- (2) HACCP農場に認定され、子牛の育成から肥育まで適正かつ高度な衛生管理を行っており、子牛の育成から良質粗飼料による胃袋づくりを徹底し、枝肉は歩留まりと重量で優秀な成績を出している。また自給飼料生産と未利用資源（焼酎粕などのエコフィード）利用、さらに混合飼料施設を整備して低コスト生産に取り組んでいる。
- (3) 牛肉は精肉の卸も取り組んでおり、スーパーや飲食店と契約し、相手方のニーズに応じて、高級肉から裾ものまで幅広い牛肉の提供を行っている。また「雲仙和牛」の商標登録を取得し、赤身とサシのバランスの取れた肉をキャッチフレーズにブランド化している。
- (4) 農大生の受入れや自立を目指す新規就農者を積極的に雇用し、規模拡大による肉用牛産地の維持拡大など肉用牛振興に寄与している。



飼料の掃きこみ作業

長崎県知事賞 受賞部門：農産部門（トップファーマー）

法人名

のうじくみあいほうじん かつもと
農事組合法人 勝本

代表者名 代表理事 たのうえ つたえ
田上 傳

市町名 壱岐市

所属団体 JA 壱岐市つや姫生産部会
壱岐地域集落営農法人連絡協議会
大坂地区保全組合



1 経営の概要

	主品目	その他		合 計
作付面積(頭羽数)	水稲 1,774a 大麦 752a 大豆 439a	-		2,965a
単収	大麦 352kg/10a	-		-
生産量(販売量)	大麦 26.5t	-		-
労働時間 (うち雇用時間)	5,708 時間	-		5,708 時間
役員数	8 人	経営の継続性	法人設立(平成 29 年)	
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	特別栽培、環境直払交付金の GAP 実践、資源循環の取組(12 者間連携)			

2 受賞の理由(特徴的な取組)

- (1) 水稲、大麦、大豆を主な経営品目として、飼料作物の受託栽培にも取り組んでいる集落営農法人である。
- (2) 水稲は 高温耐性品種を中心に、作期を分散して効率的に栽培している。また地元の酒造会社と連携し焼酎用原料として高品質の麦生産を行っている。
- (3) 水田での大豆の収量向上及び安定生産技術として部分浅耕播種栽培技術に県内に先駆けて取り組んでおり、壱岐地域の生産のモデルとなっている。
- (4) 水稲(つや姫) 大豆は、特別栽培と環境保全型農業(IPM)に取り組み、肥料・農薬の低減、国際水準 GAP を積極的に実践し、壱岐地域における環境に配慮した農業生産のモデルになっている。
- (5) 圃場管理システム Z - GIS による圃場管理を行い、品目ごとに地図化し、農作業の効率化に取り組むことで高い労働生産性を実現している。また、利用されなくなった集落内の農地集積を進め、遊休農地解消にも取り組んでいる。



作業打合せの様子

長崎県知事賞 受賞部門：特産部門（トップファーマー）

氏名

おのうえ かずひこ
尾上 和彦

おのうえ みき
尾上 美紀

市町名 東彼杵町

所属団体 長崎県中央農業協同組合茶業部会
株式会社 FORTHEES



1 経営の概要

	主品目（茶）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	820a	水稻 30a	850a
単収	130 kg/10a	-	-
生産量（販売量）	10.7t	-	-
労働時間 （うち雇用時間）	5,870 時間 （900 時間）	30 時間 （0 時間）	5,900 時間 （900 時間）
家族従事者数	4 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	発生予察による減農薬・土壌診断に基づく減化学肥料の取組 幼木期からの堆肥等による土づくり、自家製ぼかし堆肥の施用 ASIAGAP、資源循環の取組（地域内資源の利用）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

（１）就農後、茶園や山林を購入して茶園の大区画化を図り、規模拡大に積極的に取り組む等、県内トップクラスの経営体である。

（２）県内でもいち早く新品種「つゆひかり」、「さえみどり」を導入するなど、優良品種への改植を積極的に進め、早生品種から晩生品種まで幅広く植栽することで、作期の分散化による適期摘採が行われており、高品質茶生産を行っている。

（３）品評会でも常に上位入賞し、全国茶品評会の蒸し製玉緑茶の部で、日本一となる優等一席農林水産大臣賞を受賞するなど、自らの茶のみならずそのぎ茶ブランドの全国での認知度向上・確立に貢献している。

（４）平成 30 年に、地域の若手生産者とともに需要が高まっている碾茶生産に取り組む（株）FORTHEES を設立し、碾茶の海外輸出への取組を先導し、アメリカやオランダでのプロモーション活動を積極的に行った結果、（株）FORTHEES は県内最大の茶の輸出事業者となっている。



茶の被覆作業

長崎県知事賞 受賞部門：しまの農林業経営部門（トップファーマー）

氏名

かめやま みつたか
亀山 光孝

かめやま せいこ
亀山 青子

市町名 五島市

所属団体 西九州たばこ耕作組合

J A ごとう契約甘藷部会



1 経営の概要

	主品目（葉たばこ）	その他	合計
作付面積(頭羽数)	210a	麦 100a かんしょ 70a 高菜 20a	400a
単収	293kg/10a	-	-
生産量（販売量）	6.2t	-	-
労働時間 (うち雇用時間)	4,370 時間 (2,080 時間)	1,870 時間 (0 時間)	6,480 時間 (2,080 時間)
家族従事者数	3 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	リピングマルチの利用による減化学農薬の取組、たばこ耕作組合 GAP（熟練者用）、資源循環の取組（3 者間連携）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

(1) 葉たばこを中心に麦やかんしょ、高菜を経営する複合経営体であり、基盤整備地に農地を集積し、葉たばこにおいて、機械化一貫体系によりモデル的な経営を展開し、労力不足を補うために繁忙期には（株）エヌから JA に派遣された外国人労働者の労力を活用している。

(2) 葉たばこでは、機械化、共同育苗、共同乾燥施設利用等による省力化、病虫害対策、適期作業の徹底により、高品質・安定生産を実践している。

(3) 令和 4 年から五島地域で青果用かんしょの生産が開始されるにあたり、JA ごとう契約甘藷部会の初代部長として、導入、栽培、契約販売に向けた各種取組を先導し、地域の活性化に貢献している。

(4) 葉たばこ、かんしょにおいて、労力が競合する時期の労力分散のための品種選定や省力化体系を構築し、離島地域で安心して栽培できる全量契約販売を実現するなど、地域リーダーとして地域農業の発展に大きく貢献している。



かんしょの収穫作業

長崎県知事賞 受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

つしましんりんくみあい
対馬森林組合

代表者名 代表理事組合長

なかしま ひとし
中島 均

市町名 対馬市

発足・設立年 平成 13 年



1 組織の概要

品目	木材	構成員数	23 人	産地規模	167ha
販売量	17,018 m ³	販売額	228,787 千円		
単収	102.2 m ³ /ha	単価	13,444 円/m ³		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

（１）森林経営計画作成により提案型集約化施業を進め、森林施業プラン書を活用した小規模森林所有者の面的集約化に成功し、作業の機械化及び効率的な作業道開設を組み合わせ、生産コストを低減している。

（２）対馬の素材生産業者・製材業者で組織する「つしま森林再生協議会」や、県産材の流通体制の構築を進める「長崎県地域材供給倍増協議会对馬支部」等の地域組織の代表も務め、地域林業を牽引している。

（３）県内でもいち早く現業職員（林業専門作業員）に月給制を導入しており、さらに近年は週休２日制の導入や手当の見直し等、職員の待遇改善に取り組み、安心して働く環境の整備において、県内の模範となっている。

（４）木材の販売については、採材研修など積極的に行うことで技術を着実に向上させ、単価が高い用途の割合を増やし、木材の利用価値を高め、取引先への安定出荷と売り上げの増加を実現。

（５）地元高校との連携により林業体験授業やインターンシップ受入も行っており、地域における仕事としての林業 PR を積極的に行い、地元就職・人口減対策につなげる取組も行っている。



島外丸太出荷の船積みの様子

長崎県知事賞 受賞部門：地産地消・食農部門(いきいきファーム)

かぶしきがいしゃ そのぎ しょう
株式会社 彼杵の荘

代表者名 代表取締役

おかざき しょうぞう
岡崎 省三

市町名 東彼杵町

発足・設立年 平成 13年



1 組織の概要

品目	農産物、加工品	構成員数 (認定農業者数)	株主 26 人 (うち農業者 5 人) 生産者 450 人 (うち認定農業者 27 経営体)
経営理念	農産物を直売することで、出荷者が少しでも豊かな生活を送れるようお手伝いしたい、薄れゆくクジラの伝統料理を継承し、町内外住民の交流の場を広げていきたい。		
販売額	511,000 千円	施設の利用者数	36 万人

2 受賞の理由 (特徴的な取組)

- (1) 平成 14 年にオープンし、土地と建物は町が保有、経営を「株式会社彼杵の荘」が行う公設民営直売所である。
- (2) 直売所のスタッフによる高齢生産者への巡回集荷の際、「消費者の声」を届けることにより、生産者の生産意欲の継続に繋がっている。また、東彼杵町の特産である「そのぎ茶」やいちごを使ったスイーツ



そのぎ茶の試飲の様子

- の販売や、個々の生産者のお茶が購入できる「お茶コーナー」も設置しており、店内でのお茶の売上は年々伸びている。
- (3) 茶生産者が行う「お茶を急須で提供する試飲」など定期的なイベントにより「そのぎ茶ファン」の拡大に繋がっている。また、郷土料理「クジラのだご汁」は併設するレストランで常時提供するだけでなく、年 1 回のイベントでは無料提供も行っており、伝統料理の継承の一役を担っている。
- (4) 食育の推進として、学校からの要請により地元小学生を対象に、毎年、芋掘り体験を行うほか、職員が小学校に出向き、東彼杵町の農業や SDG s に関する講話を行っている。
- (5) 山間部の放棄竹林対策として、生産者と共働で竹パウダーの製作・販売や竹パウダーを利用した野菜の販売も行うなど、地域と密着した環境保全・資源循環の取組を実践。

長崎県知事賞 受賞部門：農山村地域保全部門（げんきビレッジ）

とう ひ りんぎょうけんきゅうかい
東彼林業研究会

代表者名 会長 まつもと よしのり
松本 義法

市町名 川棚町、波佐見町

発足・設立年 昭和 59 年



1 組織の概要

構成員数	28人	組織の性格	その他（林業研究グループ）
活動内容	ハランの生産販売、森林組合と連携した森林施業集約化、森林体験学習		
活動実績	昭和59年に設立し、林業に関する知識の習得並びに研鑽を重ね、林業の振興と緑化推進に寄与することを目的として活動を行う組織であり、ハランの生産販売を行うとともに、森林組合と連携して約80haの森林施業集約化を実施するなど、森林整備の推進役として地域の林業に貢献している。		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

(1) 地域の森林資源における林間でのハラン栽培に県内でいち早く取り組み、地域ブランドとして確立させ、地域イベントにて植栽体験等の森林体験学習を実施することにより地域内外の人とのつながりを育み、地域と共同的な関係を築き、地域活性化の役割を担っており、令和4年次は県内産ハランの7割以上のシェアを誇る。



ハランの収穫作業

(2) 特筆する点として、生産において懸念事項であった「シマハランの青葉化」

の課題解決のため、県農林技術開発センターの協力を仰ぎ、「クローン増殖技術（1節挿し増殖法）」の確立により単収の高い斑入りハランの増産を目指し、その取組を研修会で発表するなど、意欲的に活動を行っている。

(3) 農山村モデル地域として注目を集めており、県内はもとより、県外からも多数の視察を受け入れており、栽培技術の指導を行うなど、他地域の模範となっている。